

Week of June 15, 2025 - My Supper　　Small Group Lesson 25

知り合う

「聖なるもの」や「秩序」について考えるとき、何が思い浮かびますか？また、合同礼拝において「秩序」と「聖さ」が重要なのはなぜだと思いますか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 11:17-34（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

17 しかし、次のことを指示するにあたって、私はあなたがたを褒めるわけにはいきません。あなたがたの集まりが、良い結果ではなく、悪い結果を招いているからです。18 第一に、あなたがたが教会に集まるとき、互いの間に分裂があると聞いており、私もある程度はそれを信じています。19 あなたがたの間で、誰が適格者かはっきりするためには、分派争いも必要でしょう。20 しかし、それでは、一緒に集まっても、主の晩餐を食べることになりません。21 食事のとき、各自が勝手に自分の食事を済ませ、空腹な者もいれば、酔っている者もいるという始末だからです。22 あなたがたには、食べたり飲んだりする家がないのですか。それとも、神の教会を軽んじ、食事を持参しない人々を侮辱するのですか。あなたがたに何と言ったらよいでしょう。あなたがたを褒めるべきでしょうか。この点については、褒めるわけにはいきません。23 私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、24 感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」25 食事の後、杯も同じようにして言われました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」26 だから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。27 従って、ふさわしくないしかたで、主のパンを食べ、主の杯を飲む者は、主の体と血に対して罪を犯すことになります。28 人は自分を吟味したうえで、そのパンを食べ、その杯から飲むべきです。29 主の体をわきまえないで食べて飲む者は、自分に対する裁きを食べて飲むことになるのです。30 あなたがたの間に、弱い者や病人が大勢おり、また死んだ者も少なくないのは、そのためです。31 もし私たちが、自分をわきまえていれば、裁かれることはなかったでしょう。32 しかし、私たちが裁かれているのは、主によって懲らしめを受け、この世と共に罪に定められることがないためなのです。33 私のきょうだいたち、こういうわけですから、食事のために集まるときは、互いに待ち合わせなさい。34 空腹の人は、家で食事を済ませなさい。あなたがたが集まることによって裁きを受けることにならないためです。その他のことは、私がそちらに行ったときに決めましょう。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. コリントの教会の集会にはどのような問題があったのでしょうか？また、それは教会として集まる目的とどのように矛盾していたのでしょうか？

2. 主の晩餐の本当の意味と目的は何ですか？パンと杯は何を象徴していますか？また、それを通して私たちは何を「宣言」しているのでしょうか？

3. コリントの人々が不適切な行動を取ったことによる肉体的および霊的な結果は何でしたか？また、神の究極的な目的は何でしょうか？神が信者を裁き、懲らしめるとき、その目的は何でしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

パウロがコリントの人々の不適切な行動（歓迎しない態度や自己中心的な食事）に対して示した2つの実践的な解決策は、歓迎することと家で食事をすることです。これらの解決策が実践的である理由は何でしょうか？また、今日の教会において、これらの原則をどのように適用できるでしょうか？

話し合い　その2：

人々が教会に持ち込む「必要」とは何でしょうか？それらが適切に対処されない場合、合同礼拝にどのような影響を与える可能性がありますか？教会はこれらの必要をどのように秩序正しく、適切に対応すべきでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。